

■ MATSUMOTO Kenji 松本 健司

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Joint Research (共同研究)]

1. 植物への微量要素材の影響評価 (代表:上野大勢), 愛知製鋼(株), 480千円 (間接経費を含む). 分担:今年度に配分された直接経費 (80千円)

Conference Presentations (学会・講演会発表)

International:

1. (Invited Lecture) Matsumoto, K., Moriyama, T., Ueeda, K., Synthesis and characterization of iron(III) complexes of diether-linked bishydroxamate artificial siderophores with terminal carboxyl groups, International Congress on Pure and Applied Chemistry (ICPAC) Bali 2023, Bali, Indonesia (2023/9/12-17)

Domestic:

1. 松本健司, 佐藤圭, 近藤孝俊, 野崎裕進, 浜田鷹人, 河野航大, 亀山佑希, ビス(ピリジリイミダゾールチオン)配位子-金属錯体の合成と発光特性, 第34回配位化合物の光化学討論会, 山梨 (2023/8/9-11)

Other Details (その他)

[Outside Committee (学外委員)]

1. 先端錯体工学研究会運営委員会 (企画・出版担当)

[Committee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

1. 部門内プロジェクト「物質, 反応および分析・評価法の開発を通じた化学現象の探究」プロジェクトリーダー
2. 特別教育プログラム委員

■ Izumi Masayuki 和泉 雅之

MEXT (科研費)

1. δ -セレノリシンとセレノエステルの選択的縮合反応を利用した修飾タンパク質合成法 (代表:和泉雅之), 基盤研究(C), 令和3年度~令和5年度, 800千円.
2. 糖タンパク質の革新的合成法の確立と翻訳後修飾の機能解明に向けた統合的アプローチ(代表:梶原康宏), 基盤研究(S), 令和3年度~令和7年度, 1,500千円(分担)
3. 天然型または非天然型の糖鎖結合様式が糖タンパク質の活性に与える影響の評価(代表:梶原康宏), 挑戦的研究(開拓), 令和3年度~令和5年度, 500千円(分担)

Journal Publications (論文)

1. Akiyama, T., Tanaka, Y., Okamoto, R., Kajihara, Y., Izumi, M., Isopeptide bond formation mediated by δ -selenolysine for chemical ubiquitination, *Front. Chem.*, 11, 1307254 (2023).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 和泉雅之, セレノシステインを含むレクチン PhoSL 誘導体の合成研究, 日本化学会第 103 春季年会, 野田 (2023/3/22-25).
2. 和泉雅之, 長島匡輝, コアフコース認識レクチン PhoSL のセレノシステイン置換体の合成研究, 第42回日本糖質学会年会, 鳥取 (2023/9/7-9).
3. 長島匡輝, 和泉雅之, セレナゾリジンを利用したレクチン PhoSL アナログの合成研究, 2023 年日本化学会中国四国支部大会, 宇部 (2023/11/11-12).

Other Details (その他)

[Outside Comittee (学外委員)]

1. 日本化学会代議員 (2021/11~2023/10)
2. 日本糖質学会評議員 (2017~)
3. 糖鎖生命科学連携ネットワーク型拠点コラボレイティブフェロー

[Comittee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

1. 総合科学系教授会委員
2. コンプライアンス委員会委員
3. 理工学部運営委員会委員

[Comittee Activity within the cluster (部門内での活動)]

1. 部門長
2. 人事委員会委員

■ Masanobu Mori 森 勝伸

MEXT(科研費)

1. リグニンを単層グラフェンに直接変換する完全なリグニン再資源化技術の開発, 代表 **森 勝伸**
基盤研究 (B) 20210401-20250331, 17,680千円 (2023年度 森分 1,900 千円)
2. 放射性金属の分離精製・薬剤合成をワンスルーで行う Lab-on-a-Chipの開発, 代表 大平慎一
基盤研究B (分担) 20210401-20240331, 17,550 千円 (2023年度 森分 1,050千円)
3. コンクリート・地盤の統合評価に基づく有害物質の処理・処分技術の高度化, 代表 半井健一郎
国際共同研究加速基金国際共同研究強化(B) (分担) 20181009-2024033, 117,810千円, (2023年度 森分1,300 千円)
4. 電解・透析を利用した医療用放射性銅の新規インライン分離・薬剤化システムの開発, 代表 須郷由美
基盤研究B (分担) 202004001-20240331, 17,810 千円 (2023年度 森分 700 千円)
5. 唾液成分を指標とする鍼治療によるストレス緩和効果の解明, 代表 **森 勝伸** 挑戦的研究(萌芽) 2022-06-30-2025-03-31, 6370千円 (2023年度 森分 989千円)
6. 科学捜査のための染料に着目した単繊維の内部構造イメージングと鑑別法の体系化, 代表 西脇芳典
基盤研究B (分担) 20230401-20260331, 18,980 千円 (2023年度 森分 50千円)

Any Other Funds(その他の研究経費)

[Scholarship Donations (奨学寄附金)]

1. 入試センター協力金, 34.8千円
2. 受託事業費, 住友林業株式会社「リグニンからグラフェンへの変換技術に関する指導」 2023/02/06-2023/06/30, 800千円
3. 共同研究, 第一稀元素化学工業株式会社, 2024/01/01-2024/12/31, 1,000千円

[Fund within the University (学内プロジェクト経費)]

1. 学長裁量経費, 海洋汚染状況解明に資するマイクロプラスチックを特性化する計測技術の開発, 代表 西脇 芳典, 100千円
2. 研究科長裁量経費 (理工学専攻応用自然科学専攻), 大学院への進学を促すための広報活動広報, 200千円
3. 研究科長裁量経費 (土佐さきがけプログラム) 大学院生の国際的視点と分野横断的思考の修得を支援する取組, 120千円, 森分 30千円

Journal Publications(論文)

< 査読有 >

1. <Hot Article Award Analytical Sciences> Radioactive isotope separation with 3D-printed flow-based device, Shohei Obata, Yumi Sugo, Hinako Manabe, Yuto Arima, Kei Toda, Noriko S. Ishioka, **Masanobu Mori**, Shin-Ichi Ohira, *Analytical Sciences*, **39**(5) (2023) 671-677.
<https://doi.org/10.1007/s44211-022-00254-9>
2. Photocatalytic unification of iodine species using platinum-loaded titanium dioxide, Tsuyoshi Sugita, **Masanobu Mori**, Naofumi Kozai, *Journal of Photochemistry & Photobiology, A: Chemistry*, **438** (2023) 114548.
<https://doi.org/10.1016/j.jphotochem.2023.114548>

3. Additive effect of graphene and lignin-derived graphene on radical polymerization behaviors of methacrylate monomers, Shusuke Okamoto, Mami Fukuda, Koki Kawabata, Ayumi Komoda, Ryo Suwaki, Mikaru Mori, Fumito Fujishiro, Takafumi Ishi, **Masanobu Mori***, Daisuke Nagai*, *Macromolecular Chemistry and Physics* **224** (2023) 2300276. [I.F. = 2.996],
<https://doi.org/10.1002/macp.202300276>
4. Conversion of clay minerals to photocatalysts for Cr^{VI} reduction and salicylic acid decomposition, Tsuyoshi Sugita*, **Masanobu Mori**, Iwao Shimoyama, *Applied Clay Sciences*, **243** (2023) 107074.
<https://doi.org/10.1016/j.clay.2023.107074>
5. Dynamic sequential extraction procedure using a four-channel circulating flow system for extracting Hg from soil samples, Tomotaka Doi, Shinichi Hamasaki, Hinata Yamamoto, **Masanobu Mori**, Daisuke Kozaki* *Analytical Sciences*, **39** (2023) 739-748.
<https://doi.org/10.1007/s44211-023-00313-9>

Patents(特許)

1. 特願 2023-39760 (整理番号:F2023002P) 名称: グラフェンの製造方法, 2023/3/14.
2. 特許: 第 7288261 号
発明の名称: 分離装置、分離方法、RI 分離精製システムおよび RI 分離精製方法
出願人: 国立大学法人熊本大学; 国立大学法人高知大学; 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
発明者: 大平慎一; 戸田敬; 森 勝伸; 須郷由美; 渡辺茂樹; 石岡典子
出願番号: 特願 2020-514458
出願日: 平成 31 年 4 月 19 日
登録日: 令和 5 年 5 月 30 日

Books (著書)

1. **森 勝伸(分担執筆)**, 多孔質ハンドブック~性質・評価・応用, 竹内 雍 (やすし)監修, 第 4 章・第 3 節 イオンクロマトグラフィー (分筆) NTS, 東京, 2023 年 6 月 16 日 pp. 496-505. ISBN: 978-4-86043-824-1.
2. **Masanobu Mori (分担執筆)**, Ion-Exchange Chromatography and Related Techniques, A volume in Handbooks in Separation Science, Edited by: Pavel N. Nesterenko, Colin F. Poole and Yan Sun, Chapter 8: Ion-exclusion chromatography, Elsevier (2023) pp. 163-179.
<https://doi.org/10.1016/C2022-0-01614-7>.
3. (入門講座) 分離技術: 原理から最新情報まで~イオンクロマトグラフィー, **森 勝伸**, ぶんせき, 2023 年 6 号, pp. 216 - 224.

Conference Presentations(学会・講演会発表)

International:

1. Seminar, **Masanobu Mori** 「Leachability of radiocesium in water, soil, sediments, and aquatic organisms in Lake Onuma of Mt. Akagi, Japan」, Paul Scherrer Institute (PSI) Swiss, 2023/11/30

2. Seminar, **Masanobu Mori** 「Leachability of radiocesium in water, soil, sediments, and aquatic organisms in Lake Onuma of Mt. Akagi, Japan」, Bern University, Swiss, 2023/12/01

Domestic:

1. (Oral) 明珍尋紀, 大嶋紀安, Chaleckis Romanas, **森勝伸** 「非接触型導電率検出キャピラリー電気泳動による唾液イオンの分析:冷水刺激前後の唾液イオンの変動解析」第 83 回分析化学討論会, 2023/3/5/20-21, 富山大学.
(Poster) 橘 知隆, 大平慎一, 須郷由美, 小崎大輔, **森勝伸** 「光触媒リアクターを用いる放射性同位体 Ga-EDTA 錯体の分解」第 83 回分析化学討論会, 2023/3/5/20-21, 富山大学.
2. (Poster) 洲脇 亮, 薦田歩美, 森 みかる, 藤代 史, 石井孝文, 永井大介, 岡本衆資, **森勝伸** 「バイオマス由来芳香族物質からのグラフエン生成とその解析」第 83 回分析化学討論会, 2023/3/5/20-21, 富山大学.
3. (Oral) 坪内優陽, 生田雄己, 岩本伸司, 中島 靖, 森勝伸 「リン脂質修飾ジルコニアの開発と有機化合物に対する選択性」第 83 回分析化学討論会, 2023/3/5/20-21, 富山大学.
4. (Oral) 野川桜寿, **森勝伸**, 大平慎一 「電気透析型イオン抽出デバイスを用いた無機ヒ素の化学形態別分離」第 83 回分析化学討論会, 2023/3/5/20-21, 富山大学.
5. (Oral: 特別講演)**森勝伸** 「電気分離化学の研究と医療分野への応用」第 29 回中国四国若手セミナー(山口大学常盤キャンパス・ハイブリッド開催)2023/6/24.
6. (Oral) 薦田歩美, 森みかる, 洲脇 亮, 長尾将汰, 石井孝文, 藤代 史, 永井大介, 岡本衆資, **森勝伸** 「鉄(II)イオンを担持したクラフトリグニンからグラフエンの生成方法」第 29 回中国四国若手セミナー(山口大学常盤キャンパス・ハイブリッド開催)2023/6/24.
7. **[日本分析化学会中国四国支部長賞受賞]** (Oral)坪内優陽, 生田雄己, 川人郁斗, 岩本伸司, **森勝伸** 「レシチン修飾ジルコニアの合成と HPLC 固定相への展開」29 回中国四国若手セミナー(山口大学常盤キャンパス・ハイブリッド開催)2023/6/24.
8. (特別講演) **森勝伸** 「電気分離化学の研究と医療分野への応用」第 29 回中国四国若手セミナー(山口大学常盤キャンパス・ハイブリッド開催)2023/6/24.
9. (Oral) 川端功輝・福田真珠, **森勝伸**, 森みかる, 藤代史, 薦田歩美, 洲脇 亮, 石井孝文, 岡本衆資, 永井大介 「異なる構造を持つグラフエン化合物がメタクリレート類のラジカル重合に及ぼす添加効果」第 72 回高分子討論会, 香川大学幸町キャンパス, 2023/9/26-28.
(第 66 回粘土科学討論会) 杉田 剛, **森勝伸**, 下山 巖 「塩添加と加熱処理による粘土鉱物の光触媒化」戦災復興記念館(宮城県仙台市青葉区大町 2-12-1) 2023/9/12-9/13.
11. (72 年会) 香川 剛, 小畑翔平, 有馬裕人, 須郷由美, 橘知隆, 野川桜寿, 石岡典子, **森勝伸**, 戸田 敬, 大平慎一 「ディスプレイザブルな大容量 3D プリントデバイスを用いた選択的錯形成による原料金属からの医療用放射性金属イオンの分離・精製」日本分析化学会第 72 年会, 熊本大学, 2023/9/13-9/15.
12. (72 年会) 坪内優陽, 生田雄己, 川人郁斗, 森みかる, 岩本伸司, 森勝伸 「レシチン修飾ジルコニア固定相を利用した HPLC の分離特性」, 日本分析化学会第 72 年会, 熊本大学, 2023/9/13-9/15.
13. (72 年会) 薦田歩美, 森みかる, 洲脇 亮, 長尾将汰, 石井孝文, 藤代 史, 永井大介, 岡本衆資, **森勝伸** 「鉄(II)イオンを利用したクラフトリグニンからグラフエンの生成と最適な生成経路の探索」日本分析化学会第 72 年会, 熊本大学, 2023/9/13-9/15.
14. (72 年会) 野川桜寿, 大平慎一, **森勝伸** 「電気透析型ポストカラムリアクターを用いたイオンクロマトグラフィーの開発」, 日本分析化学会第 72 年会, 熊本大学, 2023/9/13-9/15.
15. (72 年会) **森勝伸** 「イオンクロマトグラフィーのこれから

を考える」日本分析化学会第 72 年会, 熊本大学, 2023/9/13-9/15.

16. **[講演賞受賞]** (2023 年日本化学会中国四国支部大会山口大会) 明珍尋紀, 大嶋紀安, ハレツキス ロマナス, 上田忠治, 和泉孝志, 久島達也, 森みかる, **森勝伸** 「非接触型導電率検出キャピラリー電気泳動を用いた寒冷ストレス下における唾液イオンの網羅的解析」 2023/11/11-11/12.
17. (2023 年日本化学会中国四国支部大会山口大会) 橘知隆, 大平慎一, 須郷由美, 池田俊介, 香川 剛, 小崎大輔, **森勝伸** 「デニューダ付光触媒リアクターによる Ga 錯体の分解とキャピラリー電気泳動による分解生成物のケミカルキャラクタリゼーション」 2023/11/11-11/12.
18. (2023 年日本化学会中国四国支部大会山口大会) 洲脇 亮, 薦田歩美, 長尾将汰, 明珍尋紀, 森みかる, 藤代 史, 上田忠治, 石井孝文, 永井大介, 岡本衆資, **森勝伸** 「バイオマス由来芳香族化合物のグラフエン化と電極反応評価」 2023/11/11-11/12.

Other Details(その他)

[Award(受賞)]

1. **[日本分析化学会中国四国支部長賞受賞]** (Oral)坪内優陽, 生田雄己, 川人郁斗, 岩本伸司, **森勝伸** 「レシチン修飾ジルコニアの合成と HPLC 固定相への展開」29 回中国四国若手セミナー(山口大学常盤キャンパス・ハイブリッド開催)2023/6/24.
2. **[講演賞受賞]**明珍尋紀, 大嶋紀安, ハレツキス ロマナス, 上田忠治, 和泉孝志, 久島達也, 森みかる, **森勝伸** 「非接触型導電率検出キャピラリー電気泳動を用いた寒冷ストレス下における唾液イオンの網羅的解析」 2023 年日本化学会中国四国支部大会山口大会, 2023/11/11-11/12.

[Outside Committee(学外委員)]

1. 公益社団法人 日本分析化学会 イオンクロマトグラフィー研究懇談会 委員長
2. 公益社団法人日本分析化学会 2023 年度中国四国支部支部幹事
3. 公益社団法人日本分析化学会 JAFIA 編集委員
4. 公益社団法人日本分析化学会 ぶんせき誌編集委員
5. アドバイザー, 令和 5 年度環境研究総合推進委員(環境委保全機構)
6. 高知県製品などグリーン化推進事業費補助金審査委員 (2023/5/31-2024/3/31)

[Committee Activity outside the cluster (部門選出の全学委員)]

1. アドミッションセンター委員
2. 土佐さきがけプログラム グリーンサイエンスコース長
3. 2023 年度高知大学入学者選抜学力検査 (後期日程) 試験者
4. 2023 年度高知大学入学者選抜学力検査 (推薦入試I) 試験者
5. 2023 年度高知大学入学者選抜学力検査 (社会人) 試験者
6. 人事委員会委員
7. 博士課程改組委員 委員長

[Committee Activity within the cluster(部門内での活動)]

1. 土佐さきがけプログラム研究科教務委員
2. 土佐さきがけプログラム入試企画実施機構委員
3. 教育研究部総合科学系複合領域科学部門副部門長
4. 学系教授会担当
5. 理工学部・理学部内部保障委員会
6. 安全衛生委員
7. 理工学部副学部長
8. 教育研究評議会委員
9. 大学院総合人間自然科学研究科理工学専攻副専攻長
10. 大学院総合人間自然科学研究科理学専攻副専攻長
11. 大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻副専攻長
12. 高知大学入学者選抜学力試験 後期日程 出題・責任者および採点者
13. 高知大学入学者選抜学力試験 学校推薦型選抜 I 試験者・社会人試験者(責任者)
14. 理工学理学専攻学務委員
15. 大学院教務委員
16. R5 年度大学院入学試験委員
17. R5 年度高知大学入学者選抜学力検査 前期日程 出題者(責任者), 採点者
18. 内部質保証委員

[Regional Contribution (地域貢献活動)]

1. 研究課題アドバイザー, 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構, 令和 5 年度環境研究総合推進費 2023/11/2.
2. 高等学校総合文化祭 第 7 回自然科学部門発表会(兼ぎふ総文 2024 自然科学部門出場選考) 審査委員 2025/11/12.
3. 高知県環境審議会水環境委員

■ YAMADA Kazuhiko 山田 和彦

MEXT (科研費)

1. 超高感度化無磁場固体硫黄NMR法を活用したゴムの架橋構造解析 (代表: 山田 和彦), 基盤研究(C), 令和5年度, 1,000千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Consigned Research (受託研究)]

1. 無磁場固体 ^{91}Zr 核磁気共鳴(NMR)法を用いたジルコニウム化合物の局所構造解析 (代表: 山田 和彦), 第一稀元素化学工業株式会社研究助成, 1,000千円

Journal Publications (論文)

1. K. Yamada*, T. Kaiho, Field-stepwise-swept solid-state ^{127}I NMR of 1,4-diiodobenzene, Solid State Nucl. Magn. Reson. 2023, 128, 101905.
2. Y. Masuda, S. Ohki, Y. Mogami, K. Deguchi, K. Hashi, A. Goto, T. Shimizu, K. Yamada*, Solution and Solid-State ^{33}S NMR Studies of ^{33}S -Labeled Taurine, Magn. Reson. Chem. 2023, 61, 589-594.
3. K. Yamada*, M. Takahashi, T. Tritrakarn, S. Kato, T. Okamura, K. Irie, H. Hoshi, A. Saito, Development of High-Temperature Superconducting Coil for Solid-State NMR Experiments, Bull. Chem. Soc. Jpn., 2023, 96, 550-554.
4. K. Yamada*, Y. Masuda, A sulfur- 33 Nuclear Quadrupole Resonance Study of $^{33}\text{S}_2$ -labeled L-Cystine, Magn. Reson. Chem. 2023, 61, 296-300.
5. K. Yamada*, M. Takahashi, T. Tritrakarn, T. Okamura, Field-Stepwise-Swept Solid-State ^{35}Cl NMR and NQR of trichloroisocyanuric acid, Chem. Phys. Lett. 2023, 811, 140250-

Patents (特許)

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 山田 和彦*, 次世代型 NMR システムを活用した新規高分子解析手法の提案, 第 28 回高分子分析討論会, 2023 年 11 月 9-10 日, つくば国際会議場, つくば, 茨城 (ポスター発表)
2. K. Yamada*, Chlorine- $^{35}/^{37}$, Bromine- $^{79}/^{81}$, and Iodine- 127 NMR Spectroscopy of Organic Solids, 第 62 回 NMR 討論会, 横須賀市芸術劇場, 神奈川, 2023 年 11 月 7-9 日 (一般口頭発表・英語)

Other Details (その他)

[Award (受賞)]

1. 山田 和彦*, 次世代型 NMR システムを活用した新規高分子解析手法の提案, 第 28 回高分子分析討論会. 審査委員賞

■ Kozaki Daisuke 小崎 大輔

MEXT (科研費)

1. 新規酵母の迅速な発酵特性解析のための複合分離機構型イオンクロマトグラフィーの開発 (代表:小崎大輔) 日本学術振興会 基盤研究(C), 令和4年~令和6年度, 2023年度: 1,430千円.

Any Other Funds (その他の研究経費)

[Consigned Research (受託研究)]

1. 小規模酒造でも実施可能な超短期的かつ自在な新酒開発事業の創出(学術機関代表:小崎大輔) 産学官連携産業創出支援事業(実用化型), 2023年度: 6,530千円(分担額)
2. IoTとAIの効率的学習とPDCAサイクルによる営農支援システムの自立的進化(代表:受田浩之) 内閣府地方大学・地域産業創生交付金, 2023年度: 2,000千円(分担額)

Journal Publications (論文)

1. Takeoka M., Hoki Y., Yoshinaka T., Hirano K., Mitsui Y., Doi T., Takemura A., Asano T., Katoh R., Nose A., Kozaki D.*, Multi-Functional Separation Mode-Ion Chromatography Using L-Pyroglutamic Acid Eluent for Simultaneous Determination of Sugars, Organic Acids, and Ethanol during Multiple Parallel Fermentation of Rice Wine, *J.Am. Soc. Brew. Chem.*, 81(4), 562-568 (2023).
2. Doi T., Hamasaki S., Yamamoto H., Mori M., Kozaki D.*, Dynamic sequential extraction procedure using a four-channel circulating flow system for extracting Hg from soil samples, *Anal. Sci.*, 39(5), 739-748 (2023).
3. Nose A., Shoji H., Kozaki D., Takeoka M., Reduction of the alcohol-stimulative taste of Japanese pot-distilled spirits, *J. Biosci.Bioeng.*, 136(4), 287-294 (2023).
4. Kozaki D.*, Yanagisawa K., Oishi S., Nishiwaki Y., Komatsu H., Kobiro K., Ito A., Taniguchi A., Matsuzaki T., Influence of Cr₂O₃ Concentration on the Green Color of Flux Synthesized Emeralds Using the CIE1976 Color System, *Cryst. Res. Technol.*, 58(7), 2300052 (2023).
5. Tsuboi H., Uga Y., Okunishi R., Watanabe T., Sakamoto K., Kozaki D.*, Simple and Quick Analysis for Mercury in Environmental Water Using Alkaline Reduction along with Enclosed Quartz Cell-cold Vapor Atomic Absorption Spectrometry, 52(11), 836-838 (2023).

Books (著書)

1. 小崎大輔*, 中谷暢丈, 第6章3節 ICによる環境水の水質評価, キャピラリー電気泳動・イオンクロマトグラフィーの分析テクニック, 技術情報協会, (2023).

Conference Presentations (学会・講演会発表)

Domestic:

1. 坪井春樹, 奥西瑠志亜, 渡辺朋亮, 小崎大輔, アルカリ

還元法と完全閉鎖セル式水銀分析法を組み合わせた水試料中の水銀の簡易定量法の開発, 日本分析化学会・第83回分析化学討論会, 富山大学五福キャンパス (2023/5/20-21).

2. 橋上敦志, 浅野 徹, 吉中太一, 平野健太郎, 加藤麗奈, 甫木嘉朗, 土居睦卓, 山下秀行, 田村僚晟, 光井優太, 小崎大輔, 日本酒醸造中における多/単糖, アルコール, 有機酸の濃度解析のための複合分離機構型イオンクロマトグラフィーの開発, 日本分析化学会・第83回分析化学討論会, 富山大学五福キャンパス (2023/5/20-21).
3. 田村僚晟, 橋上敦志, 光井優太, 浅野 徹, 吉中太一, 平野健太郎, 小崎大輔, 液体クロマトグラフィーによる日本酒中の香気成分の定量法の開発, 日本分析化学会・第83回分析化学討論会, 富山大学五福キャンパス (2023/5/20-21).
4. 坪井春樹, 奥西瑠志亜, 渡辺朋亮, 坂本甲太郎, 小崎大輔, アルカリ還元法と完全閉鎖セル式水銀分析法を組み合わせた環境水中の水銀の簡易分析法の開発, 日本分析化学会(中国・四国支部)・第29回中国四国支部分析化学若手セミナー, 山口大学常盤キャンパス (2023/6/24).
5. 橋上敦志, 浅野 徹, 山下秀行, 田村僚晟, 小崎大輔, 日本酒醸造過程における主要成分の濃度解析のための複合分離機構型イオンクロマトグラフィーの開発, 日本分析化学会(中国・四国支部)・第29回中国四国支部分析化学若手セミナー, 山口大学常盤キャンパス (2023/6/24).
6. 橋上敦志, 浅野 徹, 吉中太一, 平野健太郎, 加藤麗奈, 甫木嘉朗, 土居睦卓, 山下秀行, 田村僚晟, 光井優太, 小崎大輔, 並行複発酵における主要メタボロームの解析のための質量分析を伴わない液体クロマトグラフィーの開発, 高知化学シンポジウム 2023, 高知工科大学永国寺キャンパス (2023/7/8).
7. 園部祐成, 小崎大輔, 柳澤和道, 西脇芳典, 大石修二, 小廣和哉, 伊藤亮孝, 谷口彩乃, 松崎拓哉, フラックス法を用いたエメラルド合成における Cr(クロム), V(バナジウム)及び Fe(鉄)の結晶色への影響評価, 高知化学シンポジウム 2023, 高知工科大学永国寺キャンパス (2023/7/8).
8. 光井優太, 藤原 拓, 佐合悠貴, 小崎大輔, 水耕栽培用の液体肥料に含まれる主要な栄養塩類の同時定量のための中性溶離液を用いたイオンクロマトグラフィーの開発, 日本分析化学会・第72年会, 熊本城ホール (2023/9/13-15).
9. 橋 知隆, 大平慎一, 須郷由美, 小崎大輔, 森 勝伸, 光触媒リアクターを用いる放射性同位体 Ga-EDTA 錯体の分解, 日本化学会(中国四国支部)・2023年日本化学会中国四国支部大会(山口大会), 山口大学常盤キャンパス (2023/11/11-12).
10. 園部祐成, 安東亮介, 小崎大輔, 柳澤和道, 西脇芳典, 大石修二, 小廣和哉, 伊藤亮孝, 谷口彩乃, 松崎拓哉, フラックス法を用いたベリル合成における Ni(ニッケル)の結晶色への影響評価, 第37回高知化学会研究会, 高知工科大学永国寺キャンパス (2023/12/23).
11. 安藤亮介, 園部祐成, 小崎大輔, 柳澤和道, 西脇芳典, 大石修二, 小廣和哉, 伊藤亮孝, 谷口彩乃, 松崎拓哉, フラックス法を用いた合成エメラルドにおける結晶外部と内部の Cr(クロム)濃度の変動, 第37回高知化

学会研究会，高知工科大学永国寺キャンパス
(2023/12/23).

Other Details (その他)

[News Article (報道記事)]

1. NHK 高知((こうちいちばん／こじゃんと！リサーチ)からの取材と報道 (高知県の日本酒に関する特徴と食品との組み合わせに関して)(2023/9/1 放送)醸造産業新聞・酒
2. 販ニュースへの産学官連携における日本酒関連の取り組みが掲載(2023/10/1 掲載)
3. 高知新聞への産学官連携における日本酒関連の取り組みが掲載(2023/12/26 掲載)

[Outside Comittee (学外委員)]

1. 四国清酒鑑評会・品質評価委員
2. イオンクロマトグラフィー研究懇談会委員会・委員
3. 日本分析化学会・中国四国支部庶務幹事

[Outside Lecture (講演)]

1. 小崎大輔, イオンクロマトグラフィーを用いた中心炭素代謝における主要代謝物の測定, 独立行政法人 酒類総合研究所特別セミナー, 独立行政法人 酒類総合研究所 (2023/11/1)
2. 小崎大輔, 中心炭素代謝における主要代謝物のイオンクロマトグラフィーによる測定, 日本化学会 (中国四国支部)・2023 年日本化学会中国四国支部大会 (山口大会), 山口大学常盤キャンパス (2023/11/11-12).